

デンマーク姉妹校フレデリクスハウン高校来校！！(前編)

関空から日高高校へ



ホストファミリーと対面



十月十九日(土)から十月二十六日(土)まで、デンマーク姉妹校のフレデリクスハウン高校から生徒十名と教員二名が来校しました。

今年三月には日高高校からフレデリクスハウン高校を訪問して、ホームステイや異文化体験をさせていただいており、こうした相互訪問交流を通して、良好な姉妹校関係を築いています。

訪問団は十月十九日に関西国際空港に到着しました。長いフライトのせいで少し疲れた様子でしたが、「日本に来て嬉しい。」と笑顔で話してくれました。その後、日高高校でホストファミリーと対面しました。日曜日は各ホストファミリーと過ごし、月曜日からは本格的な学校交流が始まりました。

初日の歓迎アセンブリーでは日高高校の校歌を聴いてもらい、訪問団からは伝統的な踊りを披露していただきました。また、前回デンマークを訪問させていただいた生徒達による研修報告プレゼンテーションも行い、現地滞在中の様子をフレデリクスハウン高校生たちとともに振り返りました。放課後は、弓道と箏曲の部活動を体験しても

らい、初めての体験に興味津々の様子でした。

二十二日は授業を受けた後、稲むらの火の館と白崎海岸を見学しました。稲むらの火の館では「地震なんてデンマークでは経験したことがない」と言っていて、避難の方法や地震の仕組みについて真剣に学んでいる姿勢が印象的でした。帰校後、泡の会のクラブ生徒と共にイラスト制作を楽しみました。

二十三日は終日、二年生普通科の総合的な探究の時間に行われたフィールドワークに参加しました。初めて交流する生徒も多く、お互い英語に加えて身振り手振りで言いたいことを伝えようとしていました。その日の放課後に行われた生徒交流会では、各クラスの国際



交流委員をはじめ多くの希望生徒と一緒にゲームやクイズを行い、笑いが絶えない充実したひとときを過ごしました。

